

# 石川県成長戦略（仮称）素案

1. 策定にあたっての基本的な考え方
2. 戦略の体系
3. KPIの設定
4. 戦略と施策(安全・安心な地域づくり部会)

# 1. 策定にあたっての基本的な考え方

## 背景

石川県では、長期構想に基づき「個性・交流・安心のふるさとづくり」を着実に進め、個性、魅力、基盤を磨き上げてきたが、長期構想の策定以降、DXやGXといった社会に大きな影響を与える新たな時代の潮流が生まれている

### <石川の強みである個性、魅力、基盤>

#### 【産業】

規模は小さくとも特定分野で世界に誇る企業

#### 【農林】

「百万石の極み」などの特色ある農林水産物

#### 【文化】

歴史と伝統に育まれた質の高い文化資源

#### 【観光】

文化・自然などの豊富で魅力ある観光資源

#### 【交流基盤】

北陸新幹線や、小松・のと里山空港、南北に長い県土を結び、隣県とつながる道路ネットワーク

#### 【教育】

全国トップクラスの教育水準、地域に根ざしたふるさと教育、高等教育機関の集積

#### 【生活】

待機児童ゼロなどの働きながら子育てしやすい環境

#### 【環境】

「能登の里山里海」、「霊峰白山」などの豊かな自然環境

### <新たな時代の潮流>

#### DXの推進

新型コロナウイルス感染症を背景に、社会のデジタル化が急速に進み、これまでの働き方に変化を与えるとともに、人々の生活様式や価値観が多様化

#### GXの推進

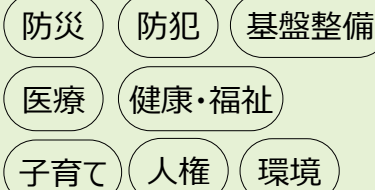
- ・カーボンニュートラル実現に向けた取組の推進
- ・脱炭素化を経済成長の制約やコストとする時代から成長の機会と捉える時代に突入

## 方向性

石川の個性、魅力、基盤を継承し、さらに発展させるとともに、新たな時代の潮流に的確に対応し、**住みやすく、働きやすい、活力あふれる、幸福度日本一の石川県**を目指す

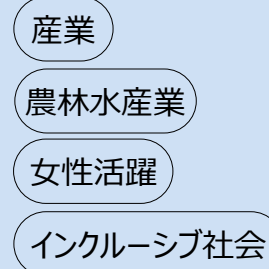
### <住みやすい石川県>

- ・激甚化・頻発化する自然災害から**県民の生命・財産が守られ、安心して子育てができ、生きがいを感じながら、健康に長生きできる社会**
- ・石川の豊かな**自然と人との共生**が図られ、未来へとつながる**持続可能な社会**



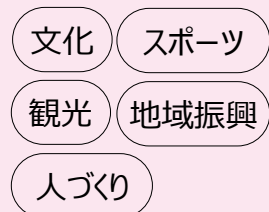
### <働きやすい石川県>

- ・新型コロナウイルス感染症や、デジタル技術の進展などによりビジネス環境や県民の生活様式・価値観が変化する中、**所得だけでなく、多様な価値観が尊重される社会**
- ・女性や高齢者、障害者など、**誰もが働きやすい社会**



### <活力あふれる石川県>

- ・文化、観光資源など個性、魅力、基盤を継承しつつ、時代の潮流を捉えて**新たな価値の創造に挑戦**でき、それらを活かし、**国内外や地域間で活発な交流**が図られる社会
- ・DXやGXなど**新たな時代の潮流にも柔軟に対応できる人材が育成**され、積極的に挑戦できる社会



## <視点>

石川県がさらなる飛躍を遂げ、幸福度日本一を実現するため、

- ・あらゆる分野において、時代の潮流を捉え、積極果敢に挑戦していくことで、個性・魅力・基盤をさらなる高みへと押し上げ、**石川の新たな価値を創り出していく**ことが重要(視点1)
- ・そのために、土台となる**県民の安全・安心が守られ、健やかに暮らせる社会をつくり上げていく**必要(視点2)

### 視点1

石川の新たな価値の創造

### 視点2

県民が健やかに安心して暮らせる社会の構築

## <戦略>

上記の2つの視点に基づき、県政の諸課題に果敢に取り組むための6つの戦略と、新たな時代の潮流を的確に捉え、飛躍するための2つの横断的な戦略を設ける

### 戦略

- 1 **新たな時代を捉えて飛躍・成長する産業づくり** (産業づくり部会)
- 2 **収益力の高い農林水産業と次世代につなぐ農山漁村づくり** (持続可能部会)
- 3 **個性と魅力にあふれる交流盛んな地域づくり** (個性豊か部会)
- 4 **石川の未来を切り拓く人づくり** (温もり部会)
- 5 **温もりのある社会づくり** (温もり部会)
- 6 **安全・安心かつ持続可能な地域づくり** (安全・安心部会)  
(持続可能部会)

### 横断的戦略

- 1 **デジタル化の推進**
- 2 **カーボンニュートラルの推進**

## 2. 戦略の体系

基本  
目標

『幸福度日本一に向けた石川の未来の創造』  
～住みやすく、働きやすい、活力あふれる石川の実現～

視 点

1 石川の新たな価値の創造

2 県民が健やかに安心して暮らせる社会の構築

戦 略

1 新たな時代を捉えて飛躍・成長する産業づくり

4 石川の未来を切り拓く人づくり

2 収益力の高い農林水産業と次世代につなぐ農山漁村づくり

5 温もりのある社会づくり

3 個性と魅力にあふれる交流盛んな地域づくり

6 安全・安心かつ持続可能な地域づくり

横断的  
戦略

1 デジタル化の推進

2 カーボンニュートラルの推進

戦略を実行するための前提・仕組み

- ・KPIの設定（進捗管理、施策の評価）
- ・オール石川での推進体制（市町や民間など多様な主体との連携）
- ・効率的・効果的な行財政運営

計画期間

**10年**（R5～R14年度）

※策定から5年後を目途に中間  
評価を行い、必要に応じて見直す

### 3. KPIの設定

➤ 「石川県成長戦略」に掲げる6つの戦略及び2つの横断的戦略の進捗状況を把握・管理するため、KPI（Key Performance Indicator：重要達成度指標）を設定

➤ KPIは、**各戦略に連なる34の施策ごとに、石川県の目指す姿（住みやすい、働きやすい、活力あふれる）の実現度合いを客観的に測ることのできるもの**

※基本目標

「幸福度日本一に向けた石川の未来の創造 ～住みやすく、働きやすい、活力あふれる石川の実現～」

<住みやすい指標例> 合計特殊出生率、刑法犯認知件数 など

<働きやすい指標例> 新規就農者数、一般事業主行動計画の策定率 など

<活力あふれる指標例> 観光消費額、県内スポーツ施設の年間利用者数 など

➤ 原則として、**定量的な目標**とする（目標年度：R14）

➤ 設定したKPIを踏まえて、成長戦略に掲げる施策を着実に推進し、**KPIの目標達成を通じて、県民の幸福度の最大化を目指す**

## 4. 戦略と施策（安全・安心な地域づくり部会）

### <各戦略に連なる施策>

□ : 安全・安心な地域づくり部会に関する施策

#### 戦略1 新たな時代を捉えて飛躍・成長する産業づくり

- (1) 産業のDX推進
- (2) 産業のGX推進
- (3) 産業を支える人材の確保・育成
- (4) 新事業・新産業の創出
- (5) 国内外への販路拡大・魅力発信
- (6) 中小企業・小規模事業者等の事業基盤の強化
- (7) 企業等の戦略的誘致の推進

#### 戦略2 収益力の高い農林水産業と次世代につなぐ農山漁村づくり

- (1) 農業生産構造の強化
- (2) 農林水産物や里山里海資源のブランド化の推進
- (3) 持続可能な農業・畜産業の体制づくり
- (4) 県産材の生産・利用拡大による林業の発展と木材産業の体制強化
- (5) 持続性のある水産業の実現

#### 戦略3 個性と魅力にあふれる交流盛んな地域づくり

- (1) 個性と厚みのある文化の創造と発展
- (2) スポーツを通じた活力の創造
- (3) 選ばれ続ける観光地としてのブランド力の強化
- (4) 交流人口の拡大に資する陸・海・空の交流基盤のさらなる充実 (一部)
- (5) 地域活力の向上に向けた移住・定住の促進
- (6) 個性豊かな地域づくり
- (7) 世界に開かれた国際交流の推進

#### 戦略4 石川の未来を切り拓く人づくり

- (1) 次世代を担う人材の育成
- (2) 地域の知の拠点たる高等教育機関と連携した「学都石川」の発展
- (3) 人生100年時代を見据えた、生涯にわたり学び活躍できる環境の整備

#### 戦略5 温もりのある社会づくり

- (1) 安心して子どもを生き育てることができる環境の充実
- (2) 生涯健康で安心して暮らせる社会づくり
- (3) 全ての県民への必要な医療の提供
- (4) 誰もが心豊かに安心して暮らせるインクルーシブな社会づくり
- (5) 男女が共に活躍できる社会の実現

#### 戦略6 安全・安心かつ持続可能な地域づくり

- (1) 災害に負けない強靱な県土づくり
- (2) 安心して快適に暮らせる地域づくり
- (3) 持続可能な循環型社会づくり
- (4) 自然と人とが共生できる社会づくり

#### 横断的戦略1 デジタル化の推進

- (1) 社会全体のDXの推進
- (2) DXに向けた環境整備

#### 横断的戦略2 カーボンニュートラルの推進

- (1) 2050年までのカーボンニュートラルの実現

## 4. 戦略と施策（安全・安心な地域づくり部会）

### 戦略3. 個性と魅力にあふれる交流盛んな地域づくり

**骨子案**（第2回石川県成長戦略会議(2/20)で了承）

**素案**（今回提示）

#### 4. 交流人口の拡大に資する陸・海・空の 交流基盤のさらなる充実

##### 幹線道路ネットワークの強化

- ・ 細長い県土の更なる一体化・高速化の促進
- ・ 北陸新幹線につながる北陸三県や岐阜県を結ぶ県際道路の強化 など

#### 4. 交流人口の拡大に資する陸・海・空の 交流基盤のさらなる充実

##### (2) 幹線道路ネットワークの強化

県土を隈なく網羅する幹線道路網整備や隣県へのアクセス強化など、人やものの交流を一層盛んにするため、幹線道路ネットワークを整備します。

- ・ 細長い県土の更なる一体化・高速化の促進  
(能越自動車道、のと里山海道4車線化、金沢外環状道路、加賀海浜産業道路など)
- ・ 北陸新幹線につながる北陸三県や岐阜県を結ぶ県際道路の整備  
(国道8号、国道415号、金沢湯涌福光線、小松白川連絡道路など)
- ・ 鉄道、港湾、空港と道路との連携強化による人・ものの円滑な移動の確保  
(金沢外環状道路、加賀海浜産業道路など)
- ・ 能登・金沢・加賀各地域の魅力ある観光地相互の連携の強化による回遊性の向上  
(奥能登絶景海道、国道249号、加賀産業開発道路など)
- ・ 緊急時の救急・支援活動を支える骨太で多重な幹線道路ネットワークの確保  
(奥能登横断道路、中能登横断道路、七尾外環状道路など)





**骨子案**

**安心して快適に移動できる公共交通の実現**

○交通DX・GXの推進

○持続可能な地域公共交通の維持・確保・充実

**素案**

**(3)安心して快適に移動できる公共交通の実現**

①交通DX・GXの推進

キャッシュレス化や自動運転など、地域公共交通分野におけるDX・GXを促進するため、事業者や市町の間組を支援します。

◎キャッシュレス化やMaaS等の活用による公共交通機関の利便性向上、利用促進

◎AIオンデマンド交通や自動運転など新技術の活用促進

◎環境負荷の少ない車両（バス・タクシー等）の導入促進

②持続可能な地域公共交通の維持・確保・充実

人口減少社会においても持続可能な地域公共交通の維持・確保・充実を図るため、事業者や市町の間組を支援します。

・市町と連携による生活に不可欠な交通サービスの確保(コミュニティバス、デマンド交通など)

◎企業や地域とのコラボレーションによる駅の賑わい創出

・ノンステップバスの導入や駅・バス停等のバリアフリー化の促進

・石川県の東西を繋ぐ交流幹線軸となるIRいしかわ鉄道の経営イノベーションの推進（交通DXを活用した駅アクセスの向上、周遊観光促進など）（R5拡充）

・のと鉄道の安定的な運行・経営の確保と、能登地域への更なる誘客の推進（観光列車「のと里山里海号」を軸とした団体誘客、アニメとのタイアップ等による個人誘客など）（R5拡充）

・鉄道や生活バス路線等の運行維持や設備投資への支援

**<KPI>**

指標名	基準値	→	目標値(R14)	指標の説明	出典
県内の移動1時間圏・1時間半圏	1時間圏 : 65% 1時間半圏 : 77% (R4)	→	1時間圏 : 75% 1時間半圏 : 87%	金沢市から各市町への時間距離の短縮度合を示す指標であり、幹線道路ネットワークの整備により10%増を目指す	石川県調べ
地域鉄道・乗合バスの輸送人員	30,160千人 (R2)	→	50,000千人	地域公共交通の利用状況を示す指標であり、人口が減少する一方、利用促進・利便性向上により需要を創出し、コロナ前のR1年度(44,800千人)水準回復を目指す	国土交通省 北陸信越運輸局調べ

## 戦略6. 安全・安心かつ持続可能な地域づくり

## 1. 災害に負けない強靱な県土づくり

## 防災・減災対策の充実強化

○気候変動の影響を踏まえた流域治水の推進

○災害時における交通機能の確保



## 1. 災害に負けない強靱な県土づくり

## (1) 防災・減災対策の充実強化

①気候変動の影響等を踏まえた流域治水の推進

気候変動の影響等により頻発する集中豪雨に備えるため、流域全体の関係機関が一体となった防災・減災対策である流域治水の考えに基づき、ハード・ソフト両面での対策を推進します。

- ・ 抜本的な対策である河川改修の促進
- ・ 即効性のある河川の堆積土砂の除去
- ・ 堤防上部の舗装等による堤防の強化
- ・ ダムの利水容量を洪水調節に活用する事前放流の実施
- ・ 水位計・河川監視カメラの充実強化
- ・ 小規模河川の洪水浸水想定区域図（R5公表）に伴う洪水ハザードマップの早期作成支援
- ・ 砂防・治山関係施設の整備、森林整備
- ・ ため池の改修、農業水利施設の整備
- ◎ 田んぼダムやため池事前放流の推進、排水機場による事前排水の実施（R5新規）

②災害時における交通機能の確保

緊急輸送道路の防災対策や生活道路の改良などにより、災害時の迅速な救急・支援活動を支える交通機能を確保します。

- ・ 幹線道路ネットワークの強化【再掲】（戦略3施策4（2）参照）
- ・ 緊急輸送道路上の橋梁の耐震補強、法面の落石対策や無電柱化
- ・ 生活道路の局所的な改良、待避所の整備

## 骨子案

○土砂災害対策の推進

○海岸保全対策の推進

### 災害に強いまちづくり

○防災拠点となる都市公園の整備など市街地  
防災力の向上

○公共建築物などの耐震化

○ライフラインである上水道や下水道の耐震化

## 素案

③土砂災害対策の推進

土石流やがけ崩れなどから、住民の生命・財産を守る土砂災害対策を推進します。

- ・要配慮者利用施設や避難所などを守る土砂災害対策の推進
- ・住民などの早期避難に繋がるソフト対策の推進

④海岸保全対策の推進

海岸の侵食や冬季風浪による被害から、国土を保全するための海岸保全対策を推進します。

- ・千里浜海岸や七塚海岸など侵食の著しい海岸における海岸保全対策

### (2)災害に強いまちづくり

①市街地防災力の向上

地震・津波、風水害・雪害及び大規模火災等といった災害から住民の生命・生活を守るため、市街地の防災力向上に取り組みます。

- ・緊急輸送道路の整備や無電柱化等による総合的な都市防災力の向上
- ・市街地での建物不燃化の促進
- ・防災拠点となる都市公園の整備

②木造住宅や多くの方々が利用する建築物等の耐震化の促進

地震による被害から、木造住宅や多くの方々が利用する建築物などを守るための耐震化を促進します。

- ・住宅・建築物の耐震化の促進

③上水道や下水道の耐震化の推進

県民の重要なライフラインである上水道や下水道の耐震化等を推進します。

- ・県水送水管の耐震化（2系統化）
- ・下水道施設の耐震化・耐水化

## 骨子案

○倒木による停電への対策（立木の事前伐採）  
など



### 災害対応力の基盤強化と自助・共助による地域防災力

○災害予防対策の充実強化



## 素案

### ④いしかわ森林環境税等による森づくりの推進

いしかわ森林環境税等を活用し、水源のかん養などの公益的機能が高い健全な森づくりを推進します。

- ・野生獣の出没を抑制するための里山林における緩衝帯の整備
- ・放置竹林の除去
- ・市町への林業技術支援アドバイザーの派遣

### ⑤倒木による停電等への対策

倒木被害の未然防止に向けた、市町による立木の事前伐採を支援し、停電等への対策に取り組みます。

◎倒木被害の未然防止に向けた事前伐採の推進（R5新規）

### (3)災害対応力の基盤強化と自助・共助による地域防災力の向上

#### ①災害予防対策の充実強化

激甚化・頻発化する自然災害による被害を最小限にとどめるため、公助による災害予防対策の充実強化に取り組みます。

- ・県地域防災計画に基づく防災体制の整備促進
- ・適時適切な避難情報の発令など市町の災害対応力の向上支援

◎防災DXの推進による災害情報収集・提供体制の基盤強化（R5新規）

◎被災者支援システムを活用した市町の被災者支援業務の支援（R5新規）

◎国の被災者生活再建支援制度を補完する県独自制度の創設

◎消防・自衛隊など広域的な応援部隊の活動拠点や備蓄・広域物資輸送拠点等となる総合的な防災拠点の整備（R5新規）

◎最新の知見等に基づく地震被害想定を踏まえた震災対策の強化（R5新規）

- ・登山届の提出促進（アプリ等を活用）や訓練実施など白山火山防災計画の着実な推進

- ・民間事業者との災害時応援協定の締結推進による官民連携体制の構築（R5拡充）

## 骨子案

○自衛隊や海上保安庁などの実動機関との連携強化

○消防力の充実強化

## 素案

- ②自衛隊、消防、警察、海上保安庁などの実動機関との連携強化  
災害発生時、自衛隊や海上保安庁などの実動機関による効果的な救助活動が行えるよう、平時から連携強化を図ります。
- ・実動機関相互の連携強化に向けた防災総合訓練や国民保護訓練の実施
- ③消防力の充実強化と消防団の活性化  
災害の激甚化など、近年の環境変化に対応するため、消防学校の整備や消防人材の確保など、あらゆる災害の最前線を担う消防防災体制の充実強化に取り組みます。
- ◎消防学校の移転整備（R5新規）
  - ◎教育訓練拠点となる消防学校の機能強化による消防職員や消防団員の資質向上、消防人材の確保（R5新規）
  - ・消防防災ヘリコプターの機能強化による災害救助・救急体制の強化
  - ・市町の消防防災施設及び消防防災資機材の整備支援による消防防災活動の機動力向上
  - ・救助のための資機材や団員の安全装備品など消防団の活動装備の強化による消防防災力の充実強化

## 骨子案

○多様な主体の連携による自助力・共助力の向上

○災害ボランティアの活動環境の充実 など



## 素案

④多様な主体と連携した自助・共助による地域防災力の向上

企業や大学、団体など多様な主体との連携を深め、自助・共助による防災活動を推進することにより、地域防災力の向上を図ります。

- ・地域の住民や企業、団体などと連携した自主防災組織の担い手確保
- ・高齢者施設や児童福祉施設など要配慮者利用施設における防災リーダーの育成など災害対応力強化への支援

◎消防学校の移転整備と合わせた、体験型学習施設を備えた防災センターの整備による県民の防災意識の啓発

◎消防学校や防災センターを活用した実践的な研修の実施による自主防災組織の強化（R5新規）

◎自主防災組織のトップリーダーである町会長を対象とした地域防災への理解を深めるセミナーの開催による自主防災活動の活性化（R5新規）

◎協定締結団体や企業、大学などの多様な主体と協働した防災啓発活動による防災力の強化（R5新規）

◎大学と連携した若い世代の防災人材の育成推進（R5新規）

⑤災害ボランティアの活動環境の充実

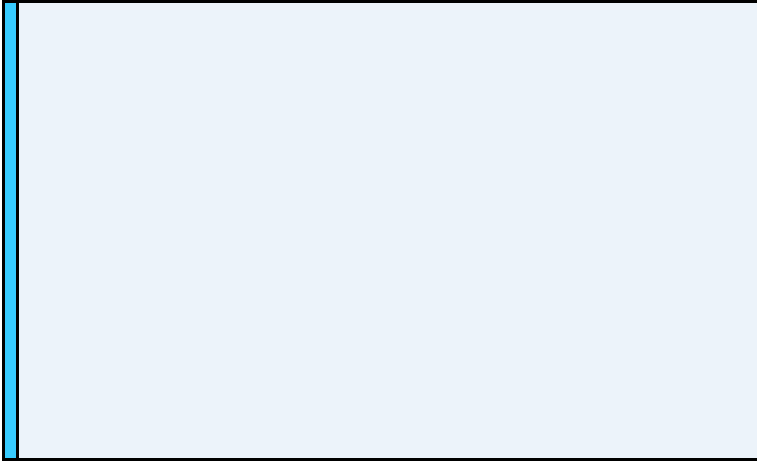
災害時に、ボランティアによる支援が円滑にできるよう、体制の整備を進めます。

◎デジタル技術を活用した市町災害ボランティアセンターの円滑な運営の支援（R5新規）

- ・県災害対策ボランティア本部構成団体の連携体制の強化
- ・災害ボランティアコーディネーターなど専門的な技術を有する人材の養成

**骨子案**

**素案**



⑥原子力安全・防災対策の推進  
 原子力発電所の安全確保や原子力防災体制の整備など、県民の安全・安心を確保するため原子力安全・防災対策を推進します。

- ・ 発電所周辺の環境放射線監視体制等の充実
- ・ 原子力防災訓練等の実施による原子力防災体制の整備や防災業務関係者の対応力の向上、住民等の防災意識の向上
- ・ 屋内退避施設などの放射線防護施設や放射線測定器などの防災資機材等の整備
- ・ 避難路となる幹線道路ネットワークの強化【再掲】（戦略3施策4（2）参照）
- ・ 能登原子力センターを核とした原子力の利用に関する知識の普及啓発

**<KPI>**

指標名	基準値	→	目標値(R14)	指標の説明	出典
浸水被害からの安全が確保された家屋数の割合	55% (R4)	→	82%	浸水被害から県民の安全が守られるかを示す指標であり、計画的に河川整備を実施し、目標達成を目指す	石川県調べ
災害時ネットワーク確保率	89% (R4)	→	100%	災害時に、救急・支援活動を支える緊急輸送道路ネットワークを確保するための指標であり、橋脚補強や落石対策を完了させる	石川県調べ
消防団員数	5,180人 (R4)	→	増加	消防団の活性化の状況を示す指標であり、団員数が概ね横ばいに推移するなか、団員数の増加を目指す	石川県調べ
防災士数 【うち女性防災士数】	9,125人 【2,523人】 (R4)	→	12,000人以上 【3,000人以上】	地域防災力の強化への取組状況を示す指標であり、1町会あたり3人、女性防災士は1避難所あたり3人を目指す	石川県調べ

## 2. 安心して快適に暮らせる地域づくり

## 持続可能なインフラ基盤の確保

- 道路施設の長寿命化対策などインフラ基盤の適正な維持管理
- 施工、点検などへのデジタル技術の積極的な活用
- 道路設備の省電力化など脱炭素化への取組 など



## 2. 安心して快適に暮らせる地域づくり

## (1) 持続可能なインフラ基盤の確保

## ① インフラ施設の適正な維持管理の推進

良好な状態でインフラを次の世代に継承するため、長寿命化計画に基づき、適正な維持管理に取り組みます。

- ・道路施設・河川管理施設・砂防施設・港湾施設・上下水道施設・公園施設等の長寿命化対策

## ② 計画、施工、維持管理などへのデジタル技術の積極的な活用

インフラ分野において、計画、施工、維持管理などデジタル技術を積極的に活用し、省力化・効率化を図ります。

- ◎交通ビッグデータ等を活用した戦略的な整備計画立案、効果検証
  - ・3次元設計による設計、施工の高度化（R5拡充）
  - ・ICT施工（建設機械）の導入による省力・効率化、ネットワークカメラを活用した現場管理の拡充（R5拡充）
  - ・デジタル技術の活用による施設点検（R5拡充）
- ◎デジタル技術の活用による道路の適切な維持管理(SNSを活用した通報システムなど)（R5新規）
- ◎デジタル技術の活用による道路除雪の自動化・省力化（R5新規）
  - ・デジタル技術の活用による防災情報（河川、砂防、道路）の発信力強化

## ③ インフラ施設の脱炭素化の推進

インフラ施設の再生可能エネルギーの創出や省エネルギー化など、脱炭素化の推進に取り組みます。

- ・インフラ施設における再生可能エネルギーの導入（太陽光発電、小水力発電の導入）
- ・インフラ施設における照明のLED化



**骨子案**

**快適に暮らせるまちづくり**

○地域の暮らしを支える道路交通基盤の構築

○多数の方が利用する建築物のバリアフリー化など人にやさしい住まいづくり

**素案**

④県民の安全・安心を支える建設業の担い手確保・育成

- インフラ整備を通じて県民の安全・安心を支える建設業の担い手確保・育成を支援します。
- ・建設業の魅力発信（高校訪問、建設業フォトコンテストなど）
  - ・労働環境の改善、働き方改革の推進（ICT施工、いしかわ週休2日工事など）

**(2)快適に暮らせるまちづくり**

①地域の暮らしを支える交通体系の構築

円滑な交通のための市街地の道路整備や、道路空間の確保、バリアフリー化など、地域の暮らしを支える安全で円滑な交通体系の構築を進めます。

- ・市街地の円滑な自動車交通を確保する道路整備（環状・放射道路、交差点の渋滞対策等）、地域間連絡道路の整備
- ・時代の変化に応じた道路空間のリニューアル（道路空間の再配分による歩行者、自転車、シニアカー、電動キックボード等の安全性の確保）
- ・パーク＆ライド等による公共交通の利用促進

②人にやさしい住まいづくり

公益的建築物のバリアフリー化や、県営住宅の整備など、誰もが安心して暮らせる人にやさしい住まいづくりを進めます。

- ・公益的建築物や住宅のバリアフリー化の推進
- ・セーフティネットとしての県営住宅の整備と管理

③安全・安心な交通環境の確保

生活道路や通学路の安全対策など、安全・安心な交通環境を確保します。

- ・生活道路の安全性の向上
- ・通学路における交通安全の確保
- ・インターチェンジや4車線道路の交差点における逆走対策

**骨子案**

○安全で円滑な冬期交通の確保 など

**県民総ぐるみによる交通安全活動の推進**

○交通安全教育など交通安全意識の醸成

○高齢者や自転車など様々な運転者を対象とした  
きめ細かな安全運転の確保

○飲酒運転の取締りなど道路交通秩序の維持 など

**素案**

④安全で円滑な冬期交通の確保

除雪体制の確保や消融雪装置の整備など、積雪時でも、安全で円滑な交通を確保します。

- ・オペレーターの育成や担い手の確保など除雪体制の維持、消融雪装置の整備等
- ・関係機関の連携による円滑な冬期交通の確保

◎デジタル技術の活用による道路除雪の自動化・省力化（R5新規）

【再掲】（戦略6施策2（1））

- ・除雪・積雪・路面状況等の情報提供の充実（R5拡充）

**(3)県民総ぐるみによる交通安全活動の推進**

①交通安全意識の醸成

交通ルールの遵守と「思いやり・譲り合い」の精神を基本とした交通安全思想の普及浸透を図ります。

- ・タブレット端末を活用したオンライン交通安全教育の実施など交通安全教育と交通安全活動の推進
- ・子どもと高齢者の安全確保

◎自転車等の交通事故抑止対策の推進（ヘルメットの着用推進、自転車保険の加入義務化など）（R5新規）

◎飲酒運転の根絶に向けた取組の強化（R5新規）

②きめ細かな運転者施策による安全運転の確保

運転者の年齢や特性に応じたきめ細かな運転者施策を推進して安全運転の確保を図ります。

- ・運転者教育の充実
- ・高齢運転者の交通事故防止対策の推進
- ・安全運転相談の充実等、様々な運転者へのきめ細かな対策の推進

③道路交通秩序の維持

悪質性・危険性の高い交通違反に重点を置いた交通指導取締りを推進します。

- ・交通事故分析に基づく交通指導取締り
- ・飲酒運転等の悪質性、危険性の高い交通違反取締りの推進

## 骨子案

### 犯罪のないまちづくりの推進

○特殊詐欺被害防止対策など防犯活動を通じた安全・安心まちづくりの推進

## 素案

### ④交通環境の整備

交通環境の変化を的確に把握してハード・ソフト両面での総合的な安全対策を推進します。

- ・ 重点的、効果的かつ効率的な交通安全施設等の整備
- ・ 交通実態の変化等に即した交通規制の推進
- ・ 道路交通環境の整備による歩行者等の安全通行の確保

### (4)犯罪のないまちづくりの推進

#### ①防犯活動を通じた安全・安心まちづくりの推進

関係機関、団体、住民等と連携協働した防犯活動を通じて、安全・安心まちづくりを推進します。

- ・ 地域の情勢に即した犯罪抑止対策の推進（駅や駐輪場等における防犯キャンペーンなど）
- ・ オレオレ詐欺など特殊詐欺被害防止対策の推進
- ・ 自治体・地域住民・事業者団体等と協働した効果的な犯罪防止に向けた取組の推進
- ・ 普及活動を通じた県民の防犯意識の向上
- ・ 犯罪の起きにくい社会づくりの推進（自主防犯活動の促進・支援、地域住民等に対する防犯情報の提供など）

#### ②県民の安全・安心を確保するための活動の推進

県民の安全・安心を確保するため、犯罪の徹底検挙、テロ・災害等緊急事態対策の推進、犯罪被害者等支援の充実等に取り組みます。

- ・ 重要犯罪、侵入窃盗、特殊詐欺、暴力団犯罪等の県民の生活を脅かす犯罪の徹底検挙
- ・ 官民連携等によるテロの未然防止対策及び大規模災害等緊急事態対策の推進
- ・ 関係機関・団体と連携したきめ細かな犯罪被害者等支援の充実（相談受理体制等の充実、犯罪被害者等の心情に配慮した適切な支援）

## 骨子案

### ○子ども、女性、高齢者を守る取組の推進

## 素案

### ③子ども・女性・高齢者を守る取組の推進

関係機関・団体等と連携し、児童や高齢者の虐待、ストーカー事案等から子ども・女性・高齢者を守る取組を推進します。

- ・ ストーカー・DV事案、児童・高齢者・障害者虐待事案等の総合的な未然防止
- ・ 通学路等における安全対策の推進
- ・ 非行防止教室（ピュアキッズスクール）等の開催
- ・ SNSに起因する事犯の少年の被害防止のための注意喚起・警告活動の推進
- ・ 少年の居場所づくりや就学就労支援等の立ち直り支援活動の推進及びいじめ問題への的確な対応
- ・ 子ども・女性を対象とした声掛け事案等の行為者に対する先制・予防的活動の推進
- ・ 高齢者にとって安全で安心な地域社会づくりの推進（高齢者の行方不明者発見活動、自治体・関係機関と連携した高齢者虐待事案対応）

### ④社会の変化に的確に対応するための警察力の充実強化

デジタル化など社会の変化に的確に対応するため、先端技術の活用や人材育成などにより、警察力の充実強化を図ります。

- ・ AIをはじめとする先端技術等の活用による警察力の強化（R5拡充）
- ・ 信号機のLED化、公用車のハイブリッド車導入等のグリーン化の推進
- ・ 若手警察職員の早期育成と幹部・指導員の指導力・指揮能力の向上
- ・ 柔道、剣道、逮捕術など術科訓練の充実強化と術科指導員の育成
- ・ 警察施設の計画的整備及び装備資機材の充実

**骨子案**

○サイバー空間の脅威への的確な対処 など

**消費者の相談支援**

○消費者生活相談体制  
○消費者教育の充実 など

**素案**

⑤県民の利便性向上・負担軽減に向けた取組

社会のデジタル化の進展を踏まえ、行政手続のデジタル化など、県民の利便性向上と負担軽減に向けた取組を推進します。

- ・警察行政手続のデジタル化（運転免許証とマイナンバーカードの一体化、電子申請手続の対象拡大など）（R5拡充）

⑥サイバー空間の脅威への的確な対処

サイバー犯罪・サイバー攻撃等の深刻化するサイバー空間における脅威に対し、的確に対処します。

- ・サイバー犯罪に対する捜査等の推進(犯人検挙に向けた捜査及び実態解明の推進)（R5拡充）
- ・サイバー攻撃対策の推進（サイバー攻撃に関する平素からの情報収集・分析、発生時における的確な初動対処、実態解明の推進）（R5拡充）
- ・産学官等と連携した各種対策の推進（産学官の知見等を活用した対策の推進、民間事業者等における被害防止対策の促進、サイバー攻撃に係る民間事業者等との情報共有、共同対処訓練等による官民連携）（R5拡充）
- ・人的及び物的基盤の強化（優秀なサイバー人材の育成、解析用パソコン等の資機材の充実強化）

**(5)消費者の相談支援**

①消費者生活相談体制の整備、消費者教育の実施

多様化・複雑化する消費者トラブルに対応するため、消費生活相談体制の整備を支援するとともに、消費者教育を推進します。

- ・市町の消費生活相談体制の整備や仕組みづくりの支援
- ・各年代へ向けた体系的な消費者教育の推進

②不適正な取引行為の監視・指導

消費者取引の適正化を図るため、消費者の誤認や困惑を誘引する不適正な取引行為の監視・指導に取り組みます。

- ・事業者による不適正な勧誘や表示に対する監視・指導

**骨子案**

**食の安全・安心の確保**

○生産から消費に至るまでの食の安全・安心の確保

○食品などの表示の適正化



**素案**

**(6)食の安全・安心の確保**

①生産から消費に至るまでの食の安全・安心の確保

食品を供給する工程の各段階において適正な監視、指導を行うとともに、事業者自らが行う自主的な衛生管理への取組に対し、支援を行います。

- ・農林水産物の生産から、食品等の製造・輸入・加工・販売までの各段階における適正な監視、指導及び検査
- ・生産者、事業者の食の安全に係る自主的な管理水準向上に向けた取組(HACCP等)の支援
- ・食の安全・安心に関する正しい情報の広報及び相談窓口機能の強化

②食品等の表示の適正化

食品等の表示に対する消費者の信頼を確保するため、食品等の表示が適正に行われるよう監視指導をするとともに、表示制度に関する知識の普及啓発を推進します。

- ・監視・指導による食品等の表示の適正化
- ・食品等の表示に関する知識の普及、相談窓口機能の強化

**<KPI>**

指標名	基準値	→	目標値(R14)	指標の説明	出典
道路施設の長寿命化修繕計画(R6~R10)に基づく対策の進捗率	0% (R5)	→	100% (R10)	道路施設(大型構造物 <sup>※</sup> )の予防保全状況を示す指標であり、R6年度からの計画で対策が必要な箇所をすべて完了させる <sup>※</sup> 橋梁、トンネル、シェッド	石川県調べ
刑法犯認知件数	3,842件 (R4)	→	減少	刑法犯 <sup>※</sup> について警察が認知した事件の数であり、さらなる件数の減少を目指す <sup>※</sup> 道路上の交通事故に係る業務上(重)過失致死傷を除く	石川県調べ
交通事故年間死者数・重傷者数	死者数 22人 重傷者数 243人 (R4)	→	減少	交通事故の状況を示す指標であり、死者・重傷者数のさらなる減少を目指す	いしかわの交通統計